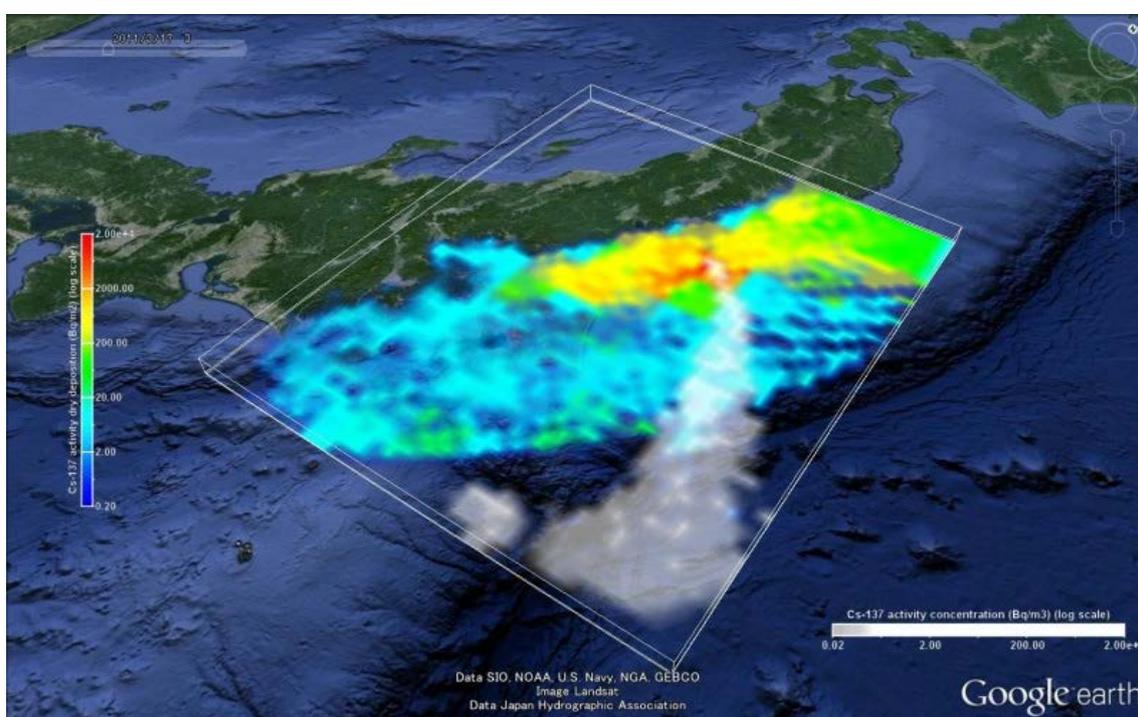


第2回 福島第一原発事故による放射性物質の 環境汚染シミュレーションに関する講習会

主催：文部科学省科学研究費新学術領域研究事業「福島第一原子力発電所事故
により放出された放射性核種の環境動態の学際的研究」A01-1 班

共催：A01-2 班、海洋研究開発機構



図：本講習会で用いる移流拡散モデルによる福島原発由来 ^{137}Cs の濃度分布（白）と沈着量（カラー）の計算結果を
EXTRAWING/DVGE 3次元可視化ツールで Google earth 上に描画したもの

日時： 2014年8月19日（火）10:00 - 17:00

場所： 東京大学 本郷キャンパス浅野地区 情報基盤センター1F 大演習室 2

定員： 40名（先着）

参加費： 無料（事前登録制）

懇親会： 8月19日（火）18:00-20:00 東京大学・本郷キャンパス周辺

その他： 演習室には端末があるので、PCの持参は不要です。OSはMacintoshです。Mac操作に不慣れな方のためにMacサポート要員が若干名居ります。ソースコードやツールの保存を希望する方は、USBメモリスティックを持参ください（3GB程度）。

申し込み： 以下のページで8月12日までに行ってください。

http://ebcrpa.jamstec.go.jp/~takigawa/ISSET-R_A01/

お問合せ先：

梶野瑞王（気象研究所 環境・応用気象研究部）：kajino@mri-jma.go.jp

概要：

午前中は、実際に最先端の研究活動に用いられる放射性核種の動態モデルの概要と適用研究に関する講義を行います。前年度同様、領域大気モデルを用いた輸送・沈着過程の講義に加えて、今年度はより高度な、データ同化技術を用いた放出量の逆推定や、アンサンブルシミュレーション技術などの紹介と、本事例への適用研究例について紹介します。

午後からは、シミュレーション実習で、前年度と同じ内容になります。FORTRAN 言語を用いた移流・拡散・沈着コードと、気象庁メソ解析データ（GPV-MSM）を使い、東北・関東スケールの領域拡散数値実験を行って、EXTRAWING/VDVGE 3D 可視化ツールにより Google Earth 上で描画するまでの実習を行います。すべて商用目的以外では無償のツールを用います。

前年度の講習会の内容は、[「天気」61巻5号、情報の広場](#)に掲載されています。また、前年度の講習会の資料は、<http://157.82.240.167/~dl3/>にありますので、合わせてご参照ください。

プログラム：

10:00-10:40 大気輸送沈着モデル（国立環境研究所 森野悠氏）

10:40-11:20 放出量逆推定（気象研究所 眞木貴史氏）

11:20-12:00 アンサンブルシミュレーション（気象研究所 関山剛氏）

13:00-13:30 移流・拡散モデル実習（気象研究所 梶野瑞王氏）

13:30-14:00 EXTRAWING/VDVGE 実習（海洋研究開発機構 川原慎太郎氏，杉山徹氏）

14:00-17:00 モデル+VDVGE 可視化実習

18:00- 本郷キャンパス周辺で懇親会